



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第8号
平成27年12月24日
校長 松丸 晴美

「今年を振り返って」

今年も残すところ1週間となり、年の瀬になると「今年の10大ニュース」が話題になります。ある新聞の読者投票では、1位「大村さん・梶田さんノーベル賞」2位「ラグビーW杯、日本三勝」3位「イスラム国の話題」でした。年齢や立場、状況によって関心事は異なると思いますが、明るいニュース、暗いニュース半々といったところでしょうか。

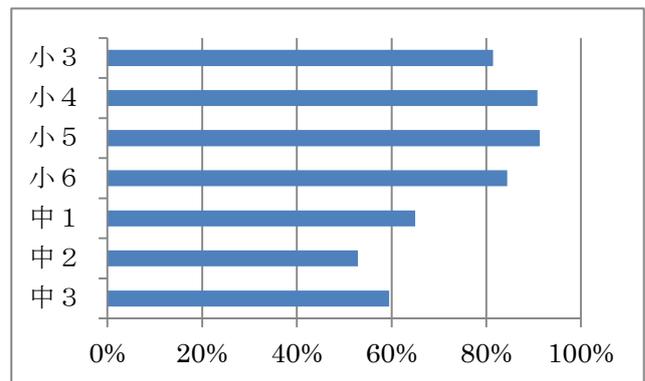
私も今年4月から学校で新たに取り組んだ教育活動を振り返ってみました。今年は、教育目標に、『国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒』を加えたことで、「国際理解やグローバル社会」を意識した教育活動を進めています。前期が終了する頃、本校のホームページでこのことを知った、タンザニアで青年海外協力隊ボランティアとして活動している練馬出身の方から、現地の生徒との文通の申し出がありました。希望者を募ったところ、18名が申し出てくれました。

先日、はるかタンザニアから待ちに待った英文の手紙とDVDが届きました。英語の先生のアドバイスを受け、文通を通して語学力を高めるとともに、異文化を理解する良いきっかけになることを期待しています。



「理数教育を充実させること」は小中学校で取り組むべき重点のひとつです。石西中小中一貫教育研究グループでは、理科と算数・数学部会を設け、小学校の先生方とともにより良い授業の実現に向けた協議を行っています。理科部会が、関町小、立野小、石神井西小児童と本校の生徒約1,100人を対象に行ったアンケート調査では、「理科の学習や

実験・観察が好き」と回答した小中学生は80%以上いました。しかし「理科で学習したことが日常生活や将来に役立つか？」という質問に対する肯定的な回答は、グラフのように中学生になるとぐっと減少します。



この課題を少しでも解決できるよう本校では、校外学習を工夫し、生徒の科学技術の進歩や日常生活と科学の結び付きに対する興味・関心を高め、科学する心を育てる試みを行うこととしました。12月17日(木)に、日本科学未来館やリスーピア、水やガスの科学館などの施設を見学した2年生の校外学習では、熱心に展示物を見学したり、体験する生徒の姿をたくさん見ることができました。「理数系だから100%つまんないと思っていたけど、日常生活の中にも理数はたくさん隠れていることを知ることができた。」という生徒の感想を読み、次回「理科は日常生活に役立っていると思いますか？」という質問をしたら、きっと肯定的な答えが増えているのではないかと期待が膨らみました。1月には、1年生が校外学習で国立科学博物館や江戸東京博物館に行き、科学や日本の伝統文化について学習します。

1年の節目を迎えるこの冬休み。各ご家庭でもお子様と一緒に「我が家の一年」を振り返る良い機会になるのではないのでしょうか。どうぞ皆様、良いお年をお迎えください。

「オリンピック」をメインテーマにした

校内創作ダンス発表会

保健体育科主任 主任教諭 星野 美知子

11月26日（木）に校内創作ダンス発表会が行われました。

今年のメインテーマは『オリンピック』。その中から、1年生男子は、スポーツ名場面を取り上げ、陸上、バスケ、サッカー、スピードスケート、野球、トライアスロンなどの様々なスポーツ名場面が繰り広げられました。1年女子と2年生は、各クラスでサブテーマを決め、イメージ・動き・音楽まで自分たちで考え作品にしていきました。スポーツだけでなく、開会式や聖火、希望、友情、団結などをイメージして、どのクラスも、様々に工夫された、個性あふれる作品となりました。

特に、2年生は、クラスで1つの作品を創るという、とても大きな課題に取り組みました。限られた時間のなかで男女が協力して話し合いや動きづくりをしていくのは、決して簡単なことではありません。しかし、苦勞しながらも、何かをイメージしてなりきって踊る楽しさ、何も無いところから自分たちで創り出す喜び、仲間と協力して1つの作品を作り上げる楽しさといったものを感じられた生徒が多かったのではないかと思います。

他の種目にはない、創作ダンス独特の、仲間と共に『踊る』・『創る』・『観る』という心身の活動に対して、1年生も2年生も大変良く取り組んでいました。さすが石神井西中生！来年も是非この素晴らしさを引き継いで、更に質を高めていって欲しいと願っています。

発表会には、155名という大変多くの保護者の皆様にご来校いただき、会を盛り上げていただきました。誠にありがとうございました。

また、来年1月26日（火）に行われる、練馬区中学校連合ダンス発表会に石神井西中学校代表として参加するのは、2年E組となりました。今年は、第50回の記念発表会となります。2年E組の皆さんには、練馬文化センターの大ホールで、記念発表会にふさわしい、素晴らしい発表をしてくれることを期待しています。



学校の周りをきれいにしよう！ 「クリーン運動」

生活指導部 美化担当 教諭 宮内 貞幸

地域の清掃活動を通して、地域社会の一員としての自覚を高めるとともに、環境美化に対する心を養うことを目的として行われる27年度のクリーン運動が約1ヶ月の活動期間を経て、今ここに終わりを告げようとしています。この活動はクラスごとに、朝8:15に集合し、20分間校地内や学校周辺の落ち葉はきを中心に、地域の美化活動に貢献していこうというものです。

いつもより少しの早起きをし、寒風吹きすさぶ中、一人一人が竹箒を持ち、一生懸命落ち葉を集めました。時間に制約があったため、集められた落ち葉の量は少なかったかもしれませんが、この時間を通して中学生が地域貢献の実感を味わえたことは今後の人生に大きなプラスとなったのではないのでしょうか。ある生徒が、道行く人からかけてもらった『ありがとう』の言葉は石西中全員にいただいたものと考え、これからも地域の中学生であって欲しいと願っています。



理数に興味をもとう 「校外学習を終えて」

2年校外学習担当 教諭 戸部 昌彦

12月17日(木)に行われた2年生の校外学習では、社会のルールとマナーを守りながら理科・数学を学ぶことを目的としていました。まず始めに事前学習として、日常生活と科学との関連について学ぶ理科・数学の特別授業を行い、続いて班行動でのマナーや思いやりを考える道德の授業、そして自主的に見学地を選択して行動計画を立てる実習など、教科の枠を超えた総合的な学習を行いました。限られた時間の中で準備不足の面もありましたが、生徒一人一人の責任のある行動により、昨年の校外学習から大きく成長した2年生の姿が見られました。「〇〇がおもしろく、班で楽しく過ごせてよかった。」という生徒たちの言葉から、充実した時間を過ごすことができたことがわかりました。「理科離れ」という言葉を耳にすることがありますが、本校の2年生に限っては「理科好き」が少なくないことを改めて感じる一日であり、来年の修学旅行にもつながる有意義な校外学習となりました。



【諸活動の記録】

○練馬区ジュニアリーダー養成講習会

皆勤賞 2年D組 渡邊七海

修了証 1年A組 長谷川智哉、早川詩乃、1年C組 山口谷航大、1年D組 竹岸孝博

2年A組 籠利優子、2年B組 井口ゆきな、2年C組 中田理沙、

2年D組 串田千尋、渡邊七海、2年E組 金田直穂、村上奈緒、

2年F組 大浦優菜、田口千香子

3年A組 夏山鈴果

○税の作文

東京都練馬都税事務所

都税事務所長賞 3年F組 熊木夏奈穂

練馬西納税貯蓄組合連合会

会長賞 3年F組 川田奈央

優秀賞 3年A組 矢口里菜、3年C組 鈴木未来駿

練馬租税教育推進協議会

優秀賞 3年B組 関有紗

○税の標語

練馬西税務署管内練馬西間税会

優秀賞 2年E組 田村玲奈

佳作 2年C組 林田祈歌、2年E組 米本美菜

○練馬区環境作文コンクール

佳作 1年A組 則竹穂乃、1年C組 川端恭平、新開絢、高橋凜凜

○新体操

第8回アザレアカップ国際親善交流会 ジュニア団体 優勝 2年B組 新井彩夏

○練馬区中学校駅伝大会

女子 10位 Aチーム 第1区 2年C組 窪田優菜、第2区 1年A組 大塚羽未、
第3区 3年E組 後藤萌、第4区 3年D組 松村奈津樹、
第5区 3年E組 吉田百花、第6区 3年B組 桂蘭

区間賞 第1区 第2位 2年C組 窪田優菜
第2区 第1位 1年A組 大塚羽未
第3区 第4位 3年E組 後藤萌
第4区 第4位 3年D組 松村奈津樹
第5区 第3位 3年E組 吉田百花

24位 Bチーム 第1区 1年C組 田中美亜、第2区 1年F組 石田菜々花、
第3区 1年E組 大野真理、第4区 1年C組 前田優衣、
第5区 1年E組 小川莉央、第6区 1年C組 臺沙希

男子 16位 第1区 2年A組 澤浩己、第2区 3年B組 青沼誠志朗、
第3区 3年B組 徳田翔太、第4区 3年A組 杵淵翔、
第5区 3年B組 佐々木琉成、第6区 3年B組 菅野広行

個人走

2年E組 関口聡志 (第1位)、2年F組 大橋翼

2年F組 高崎里帆 (第3位)

○ソフトテニス部

都大会新人大会 男子団体

1回戦 石神井西中 2対1 東久留米市立大門中

2回戦 石神井西中 0対3 世田谷区立砧南中

【顧問より】目標だった都大会出場を果たし、大会当日も選手達のよいプレーが多く見られました。保護者の方々にも応援をいただきました。ありがとうございました。

